

草津市国際交流協会

事業名	「留学生と行く滋賀の自然と環境体験ツアー」						
実施期間	平成26年11月9日(日) 8:00~19:00						
場所	滋賀県竜王町「芋掘り」・高島市「そば打ち体験・試食」・高島市「針江のかばた巡り」						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	46	19	5	10			80名

<実施内容>

草津市国際交流協会では立命館大学草津キャンパス(KBC)の教室を借りて、日本語教室を開催している。
以前より教室を出ての交流を望む声が大きかったので、今回は立命館大学国際交流部留学生課の協力を得て、そのメーリングリストを通じて広く広報活動を行ったことにより、定員を上回りキャンセル待ちが出るほどの応募者を得た。
実施内容も多彩なイベントを盛り込み、参加者よりの交流の機会を得て良かったとの声が多かった。



総勢80名での国際色豊かなそば打ち体験！

滋賀県の自然と環境を、留学生と交流しながら学ぶバスツアーを企画・実行しました。
草津市より竜王町のイモ掘り、高島市のそば打ち体験・試食、針江のかばた巡りと多彩な計画。
事前申し込みで16カ国46名の多彩な留学生が申し込んでくれ、キャンセル待ちが出るほど好評でした。
当日はあいにくの雨模様の天気で、参加者の集まりがきになりましたが、留学生は10分ほどの遅刻者が2名出ましたが全員が、又学生含む日本人も申込者が全員参加してくれました。

バスで最初の目的地竜王アグリパークに到着しましたが、まだ小雨が降ってましたが、農家の方が「今日はこのいも畑の最終営業日、取ったいもは皆な持って帰ってください」の案内に、参加者一同大張り切りです。

傘をさしながらの作業になりましたが、「キャー！ミミズが」の黄色い声も飛びかいたが、いもの魅力に、木の棒でミミズを取りながらの作業で沢山のいもをゲットしていました。
収穫が終わると農家さんより「焼き芋」のプレゼントがあり大喜び、冷えた体になんと美味しかった事か！次の目的地迄の約2時間、バスのなかで国際交流の楽しいおしゃべりの輪が広がりました。

高島市の交流センターに到着すると、80人が16グループに分かれてのそば打ち体験です。

各グループはどのグループも国際色豊かな組合せで、楽しくそば打ちを体験し、自分の打ったそばに舌つつみを打ちました。ハラル対応のそばつゆも用意されていて10名がそれを利用されました。

最後の目的地の「針江のかばた巡り」に到着すると、雨もあがり観光ボランティアの案内で10名ずつのグループに分かれて滋賀の環境の奥深さにふれました。
帰りの車中では、ビンゴゲームで盛り上がり楽しく有意義なバスツアーは無事に終了しました。

素晴らしかった！このようなツアーをもっと企画して行ってください。
It was wonderful! I would like to have this kind of activitis more often.

楽しかったです！このようなツアーをもっと企画して行ってください。
It is enjoyable! Please organize more trips like this.

立命館大学 王 驥さんのコメントです(立命館大学 経済学研究科2回生)

待望のバスツアーの日はずいに来ました！

雨はずっと降っていたが、出発前のハイテンションをなかなか抑えられません。今回のバスツアーで、留学生の通訳も担当させて頂きました。最初はすごく緊張しました。KIFAのスタッフたちは「大丈夫、大丈夫」って私を励みました。私は勇気をつき、通訳を始めた。通訳がつかずいた時、皆、笑顔で励んでくれました。私の緊張感も解消して、だんだん気軽に通訳することが出来ました。留学生たちの分かったような顔を見て、本当に嬉しかったです。まもなく最初の目的地、芋畑につきました。そこで、人生で初めの芋掘りを体験にしました。芋を土の中から掘り出す時、すごく興奮でした。収穫の喜びもいっぱい味わいました。泥土が付いている芋を持ちながら、友達と一緒に面白い写真を取りました。後は、焼き芋も試食しました。私のふるさとー中国山東省では、冬になると焼き芋の屋台がいっぱい出ます。焼き芋を食べながら、歩いている人の姿をよく見えます。今回、日本で焼き芋を食べることができて、楽しかったです。

その後、次の目的地はそば打ち体験のお店に到着しました。そこで、三人の留学生と一人日本の方と一緒に蕎麦粉からそばを作った。途中で何度も失敗し、最初からやり直したが、皆諦めずに、ようやく完成した。そば作りの先生は「食物を美味しく食べられる場合は2つある。腹が空く時と自分で食べ物を作る時」その時、私はすごく腹が空いてきました。最後に、自分で作ったそばを食べた時、まさに世の中では、これ以上美味しいものがないと感じた。

最後の目的地は針江のかばたでした。そこはまさに理想国のような町だと感じた。町の人は知恵を活かし、地中より湧き出る生水が池に溜められ、飲み水としてだけでなく野菜や穀物などの食材を洗ったり、果物を冷やしたりする生活用水として利用されています。私はこの町の生水を飲んでみて、本当に甘くて美味しい水だなと感じました。排水路の中でも小魚や鯉が元気に泳ぎ回っているこの町の光景を見て、この町の人、本当に自然と人間を調和して生活していると思いました。今、中国では環境破壊の状況は深刻で、綺麗な空気を自由に呼吸することもできません。皆と一緒に努力し、自然を守ることも感じました。

今回のバスツアーを通して、芋掘りの楽しさ、手づくりそば食べる時の美味しさ、自然豊かな町の美しさ、いろいろな貴重な体験をしました。忘れられない思い出になりました。そして留学生と日本の方々と交流でき、視野を広がり、さまざまな繋がりを結びました。将来、中国の親友を日本での経験を語り、両国の国際親睦を深めていきたいです。